

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」山形松波校			
○保護者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年12月29日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	68	(回答者数)	67
○従業者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年12月29日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月6日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人に合わせた唯一無二のプログラム	ご利用様のご希望に合わせた活動を行っている。 達成度に応じて臨機変更にプログラムを変えるなどの対応ができる。	学校等での様子も共有しながら、必要な支援を提供していく。
2	保護者様へのサポート	療育終了後のフィードバックでの情報共有。 個別での相談支援。 お子様の活動の様子を見学する機会の提供。	事業所と保護者様だけでなく、関係機関との連携も深めていく。
3	専門職のスタッフの充実	心理担当職員、作業療法士等の専門職のスタッフを配置している。 保育士や教員免許など幅広い分野でのスタッフの知識を活かすことができている。	クラゼミ全体で他の専門職のスタッフと連携を取りながらお子様の活動に役立てていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の場所がテナントの2階にある。 駐車場が狭く出入口が1か所。	利用する際に階段の昇り降りがあるので、危険の無いように声かけが必要。 入れ替えの時間など駐車場が混雑することがある。	階段の昇り降りの際は、安全面を考えた声かけを行っている。 混雑時にはスタッフが駐車場に対応し、事故の無いようにしている。
2	保護者様同士の繋がりが少ない	保護者様同士での悩みの共有をする場を提供していない。	希望がある際には、同年代のお子様の保護者様同士でお話をする機会を設けていく。
3	室内のスペースが限られている	教室が狭いため、複数人で活動する際にはスペースが限られてしまう。	大きく体を動かす際は、同時刻の方と一緒に取り組むことや限られたスペースでできる活動を行っている。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」山形松波校					公表日	2026 年	2 月	14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○							
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	階段利用児には安全のための声かけをしている。駐車が混みあうときには職員が対応している。	事業所が2階にある。降雨時降雪時の怪我に注意が必要。小さいお子様だと階段が大変。駐車場の出入り口が一つ、狭い。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○							
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室や療育スペースをパーティションで区切っている。					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○							
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○							
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○							
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○						
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		会社本部が主催する研修やエリアでの研修に参加している。					
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○							
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○							
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○							
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○							
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○							
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○							
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○							

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		○	防災訓練などは同時刻の児童と集団で実施している。	個別での需要がほとんどのため小集団活動は行っていない。希望があれば適宜実施していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼で情報共有と当日の利用児の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼で情報共有と明日の利用児の確認を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		相談支援、子育てサポート、発達支援研究所の講演会の案内を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談支援、支援見学、療育をお待ちいただいている間に面談など行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		パスワード付きのパソコン、鍵付きの書庫で管理している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		イベント等の開催は行っていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。				食事の提供は無し。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			

公表日

2026年2月14日

事業所名

こどもサポート教室クラゼミ山形松波校

利用児童数

68

回収数:

67

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	64	3	0	0	感覚過敏有、音に敏感ですが個室利用で安心して過ごせるようでありがたいです。	今後も安心して過ごせるように努めていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	62	3	0	2	フィードバックの時間が少ないと感じることがあります。次の方がすでに待ってるので急いで帰らないといけないと少し焦る気持ちになります。需要が高いようですので、時間コマ増や時間内人数を増やすなどの対応をしていただけると有り難いです。	時間に制限がある際は、後ほどお電話やline等で情報を共有させていただきます。なるべく皆様にご利用いただけるよう調整を継続していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※ 1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	57	4	2	4	車椅子や足の悪い方だと階段は大変なのかなと...子どもは大丈夫ですが...。整理整頓されていて今日のやることが分かりやすく提示されていて特性があっても取り組みやすい環境だと感じます。	ご利用の部分でご負担おかけしてしまい申し訳ございません。今後も教室内の環境を整えていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	66	1	0	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	62	4	0	1	いつも細やかに心遣いして頂いてます。困り感にフォーカスした支援で、特性に合わせてどうしたらやる気が出て飽きずに集中出来るか、毎回学習&興味関心も含めてその都度、子どもの目線を考えた支援を充分に取り組んでくださっていると感じます。	ありがとうございます。今後もお子様の状況や性格に合わせて活動や関わりをもっていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラム(※ 2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	65	1	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※ 3)が作成されていると思いますか。	65	1	0	1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	65	0	0	2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	64	2	0	1		
	10	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	61	4	0	2	その時々にあった支援をして頂いてます。興味関心が数ヶ月単位でうつりやすく変わりますが、上手にその都度好きなこと興味関心に合わせてプログラムを組んでくださり助かっています。楽しいと言っているのでも、安心してお任せでき日常は困難が多いですが、ひとつの大事な居場所となっていて、とても助かっています。実生活に必要なことをしてもらい感謝してます	お子様の居場所となり大変うれしく思います。楽しさを自分自身の必要な力に取り組むための糧となれるよう、今後も取り組んでまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	17	22	20		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	66	1	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	67	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	34	11	6	16	土日開催のものと参加しやすいです	開催する際はなるべくご家族の方のご都合に沿わせていただきます。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	64	1	0	2	困り事がないかを時々聞いて下さり、その対応を頂いてます。親が気付けない事も子どもが先生に伝え、それを親へ教えてくれているので大変有難いです。	引き続き情報共有をしていきながら、一緒にお子様の成長を見守っていききたいと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	64	1	0	2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	65	1	1	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	21	16	21		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	58	3	0	6		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	66	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	40	6	2	19		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	59	2	0	6		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	47	6	0	14	緊急避難場所の周知や安全対策はされておりますが、訓練が有るか分かりません。	毎月訓練を実施しております。訓練実施の様子も閲覧できるようにしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	38	4	0	25		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	64	1	0	2		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	55	1	0	11		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	66	0	0	1	クラゼミは安心して行ける、学校は安心できないから毎日に行きたいと思わない。と最近言っていました、学校は週3短時間付き添い登校中。なので、自宅にいる時間も長いので特性を理解してくださり適切な支援をしてくださるクラゼミの時間は親子ともに貴重な時間です。私もずっと子どもと24時間一緒にいるので、めちゃくちゃ貴重な一人時間が非常にありがたいです。(クラゼミへ預けている、この時間数十分が、不登校の場合かなり重要です。)	安心して通っていただけるようでよかったです。お子様に合わせて少しずつ自信をつけていき、不安を減らしながら、クラゼミ以外の場所でも力を発揮できるよう今後も関わっていききたいと思います。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	54	12	1	0	嫌がることはありません。お勉強をするイメージが強いようで楽しみにしてるようなかんじはありません。ただ必要なことなので仕方ないと思っています。毎回楽しみと言っています。毎週金曜日は午前中は学校、夕方クラゼミのリズムが定着してリズムが彼の中で定まってきて良かったです。興味関心に沿って必要な課題を無理ないペースでできるよう盛り込んでくださっているからだと感じます。他の習い事(サッカー)で疲労した状態で通所することもよくありますが、基本的にはクラゼミの先生とのコミュニケーションを楽しみにしているようです。優しい先生方や一緒に遊んでくれる友達も居るので、楽しい時間を過ごさせていただいているようです。優しい先生方だけでなく、一緒に遊んでくれる友達も居るので楽しく過ごさせていただいております。	楽しく利用いただきありがとうございます。お子様の体調に合わせてプログラムを変更することで無理なく取り組んでいきたいと思っています。お子様の興味関心に沿ってイメージしやすい形で進めていきます。同時刻のお子様とも楽しくかわっていただけるようにしていきます。

	29	事業所の支援に満足していますか。	63	4	0	0	人気事業所のように利用できる日が少ない時間や日程など生徒の人数が増えたせいか、前よりも変更しづらくなっている。いつも本当にありがとうございます。いつもありがとうございます。今後ともよろしくお願ひ致します。勉強だけでなく、学校生活での苛立ちや悩みも優しく寄り添ってくださるので、親子で助けられています。	利用については皆様のご希望に沿ってできる限り対応していきたいと思ひます。今後も満足して通っていただけるよう尽力して参りますので、今後ともよろしくお願ひいたします。
--	----	------------------	----	---	---	---	--	---